

第481回 三水会便り

11～12月の予定

666 回例会 12月18日午後6時30分～ 於/日本山岳会集会室

今年を締めくくる忘年会です。多数のご出席を期待しております。来年の例会・山行計画についても話し合ひましょう。係り/田中恵の指示に従ってください。

665回例会 11月20日午後6時30分～ 於/日本山岳会集会室

講師/田中文夫が富士山麓に残る“ロマンと伝説”を紹介

JAC 会員参加可 FREE

富士山麓に伝わる古代の物語を日本山岳文化学会会員/田中文夫さんに紹介していただきます。いまから 2000 年も前の話です。徐福という人が、始皇帝の許可を得、若い男女5000人を連れて旅立ち日本各地に住み着いたそうです。鹿児島、和歌山、山梨などに多くの伝説を残しています。

現地集会 12月12日(木) 鎌倉・紅葉谷から散在ヶ池

計画通り実施する予ですが、さきの台風 19 号の影響でコースが荒れているところがあり、一部通行不能になっています。係り/増田が調べています。詳細計画はしばらく、お待ちください。

現地集会 11月17日(日) 秩父・小鹿野・観音山(698m)

集合/10:00AM 西武 秩父駅 小鹿野経由栗尾行バス停前 (10:10 バス出発)
 コース/西武秩父駅(バス 60 分)→ 栗尾バス停(バス 50 分)→ 観音院入口(12:00)→
 観音院(12:30 昼食)→ 観音山(13:30)→ 牛首峠、日尾城跡(14:30)→ 馬上バス停
 (15:25)→ 小鹿野・バス乗換え(15:55)→ 西武秩父駅(16:40 着)

※西武秩父駅近くで反省会を予定しております(2 時間)参加自由

※参加費用: ¥500(保険) + ¥3000(反省会) = ¥3500

係り 吉田正隆 e-mail/uhi87591@nifty.com

携帯 050-7300-4314 (番号かわりました)

住所 〒143-0016 東京都大田区大森北 4-17-9

10月の報告

■10月16日 664回例会 神崎忠男/エベレスト初登頂を検証

1970年5月11日、日本山岳会隊が日本人としてエベレストに初登頂した。世界で6番目だった。それから 50 年—。神崎忠男隊員がいくつかの映像を混じえながら登頂を振り返った。

冒頭、信じられない映像を見た。エベレスト頂上近くのスロープに登頂を目指す、あるいは登頂を終えて下山する人たちが数珠なりに並んでごったがえしている。登頂者の表情はよくわからないが、難渋しているのは明らかだ。待っている間に疲労と酸素切れで死亡する登山者もいた。最終的な登頂記録は昨年(2019年)の記録 807 人を大きく上回るだろう。ことし5月 28 日に AFP がショッキングな映像を公開した。50年前に、こんなことを想像できたろうか。



70年日本山岳会エベレスト隊で頂上に立った松浦輝夫(当時35歳)、植村直己(28)、平林克敏(35)とシエルパのチョタレーだった。隊長は松方三郎(70)、登攀隊長は大塚博美(45)。いろいろあった。平林と神崎忠男(29)が滑落する事故があり、成田潔思(28)が心不全で急死した。大塚は号泣した。65～69年にネパール政府がエベレスト登山を禁止していた。日本隊は解禁後、初めての許可を得た。参加したのは隊員30人、報道9人、シエルパ26人。酸素ボンベ350本、総費用1億1050万円。隊に渡部節子(31)がいた。天候がよければ登頂する話もあったが、天候悪化で中断した。

英国隊は53年5月28日、9度目の遠征でようやく初登頂の栄冠をものにした。会長が宣言してから46年もの月日を費やしてきた。遠征の度に隊長は代った。さまざまな人間模様が指摘されている。登頂から50年目、米ナショナルグラフィックから登頂50周年記念遠征隊が組織され、エドモンド・ヒラリーの息子ピーター・ヒラリーが参加した。映像は、ピーター・ヒラリーが父の業績をたたえ自ら経験したときのものだが、最後は53年前の映像に切り替わった。参加者23人。

■10月28(月)～29(火)日 西上州/金毘羅山と天狗岩

28日(月)天気晴れ。不二野屋の近くの不二洞からまほうばの郷を通過して金毘羅山へ登山。約3時間。常宿の不二野屋で懇親会。翌29日(火)は、曇りのち小雨。早朝から天狗岩に登山。途中から小雨。登山時間3時間。雨が弱いうちに下山。参加者7人。橋

三水会便り 第481回 発行2019年11月1日 東京都千代田区四番町5-4日本山岳会三水会 便り担当 北口マリ子, 文責/高橋重之
--